



2021年11月発

## ファームのつどいに参加して



10月7日木曜日、待ちに待ったみなさんも楽しみにしていたこの日が来ました。今回は去年、コロナ禍で形式を変えての開催でしたが、2年ぶりに本来の「ファームのつどい」復活です。

朝から曇りで、天候が心配されましたが、家族会やボランティアのみなさんでにぎやかに、かまどで煮炊きしたゴロゴロカレーの準備や、ふれあいのイベント「オータムガーデンフェス」の用意にワイワイガヤガヤ、大忙しながらも楽しそうでした。

10時過ぎ頃から、ふれあいのメンバー主体での虹色ファームで採れた「野菜争奪輪投げ（輪も手作り）大会」が催され、メンバーさんや家族会も入り交じり、なかなか難しく、何回もチャレンジしていました。

11時半頃に、「愛情も十分煮込まれた」ゴロゴロカレーが今年の旨い新米の上に盛られ、「お替りください！」が連呼されるほど美味しくいただきました。この頃には曇りが霧雨になり、残念ながら部屋に戻っての食事でしたが、食べ終わる12時頃には雨も上がり、ファームへ戻り「のど自慢大会」がスタッフさんの司会でスタート。ふれあいメンバーさんの美声？に酔いしれ？時間が経つのも忘れた一日でした。

最後に準備していただいた家族会、ボランティアさん、スタッフさん、楽しい一日を盛り上げていただき、ありがとうございました。次回の開催が待ち遠しいな～  
T・Y

## 虹色ファーム de バザール

地球の温暖化を減らし、二酸化炭素を排出し気候の変動をおさえなければならぬという。「冷房の温度を1℃高くし、暖房の温度を1℃低く設定する」など工夫できると・・・ コロナも減少しつつ、秋めき紅葉、木々も色づきさわやかな秋空の中、フェイスシールドやシートでコロナ対策をし、開催されました。

通所生の手話歌・バンド演奏・虹色ファームでとれた野菜・手芸部の手作り品・c a f eのお惣菜・家族会の寄付されたバザー品、次々に売れていきました。

かまどで作ったカレーも食べ、楽しい心と和む貴重な日となりました。健康に気をつけ、前向きな心で、前進していきたいですね。  
K・M

## 我が家のワクチン接種事情



緊急事態宣言が解除され、長かった夏休みも終わり、少しずつ平常の日々に戻りつつあります。私は9月に、次女は10月に新型コロナワクチンの予防接種を終えました。次女は発達障害があり、予防接種の日は落ち着かず、朝からずっと多弁で喋りっぱなしでした。テンションが高い為、待合室でも奇声や高笑いで周りの目を気にしながらも、2回目の接種が終わったことで一安心しました。

ある日長女とテレビを見ていたところ、埼玉県では障害者がメインの新型コロナワクチン接種会場を設けたという内容の番組を見かけました。長女は「ああ、ここだったら私も予防接種を受けられるかもしれない」といいました。長女は統合失調症があり不安症状が強い為、人の多い場所や建物の中では極度の緊張状態に陥り、頭痛・吐き気、または、吐いてしまうのではないかという気持ちに襲われ、接種会場に行く事が気持ち的に負担が大きく予約を取れないでいました。なので障害者を主として見てくれる会場であれば、少しでも長女も安心して接種する事が出来るのではないかと思い、市のコロナワクチン対策室の方とお会いし、お話をさせていただきました。ですが、古河市では障害者用のワクチン接種会場は設けていないとの回答でした。そもそも要望も届いていないと。以外とみんな、そのあたり苦労していないんだなあと思いました。それとも諦めなんか。どちらにせよ無いものは無いので諦めるしかなく、その旨を長女に話をしました。すると数日後、長女は意を決したように、予約を取って欲しいと訴えてきました。「何とか接種して、私も外にでたい！」と。やっぱり行けないとなり、もしかしたらワクチンを無駄にってしまうかもしれない。しかし長女の気持ちを尊重し遂に予約を入れました。受けたくても受けられない、そんな気持ちで数か月過ごした長女、無事に受けられる事を祈るばかりです。そして2人で気持ちよく外出できる事を楽しみにしています。  
E・K



問い合わせ/連絡先：茨城県古河市新久田 271-1

福祉の森会館（特定非営利活動法人ふれあい内）

☎/fax : 0280-48-5878 e-mail : info@fureai-net.org